

北京+25シリーズ 第1弾

政策決定への参画～2015年以降
の日本の課題、世界の課題～

2019年6月14日

三浦 まり（上智大学教授）

5年間の変化

法的基盤整備

- 女性活躍推進法
- 政治分野における男女共同参画推進法

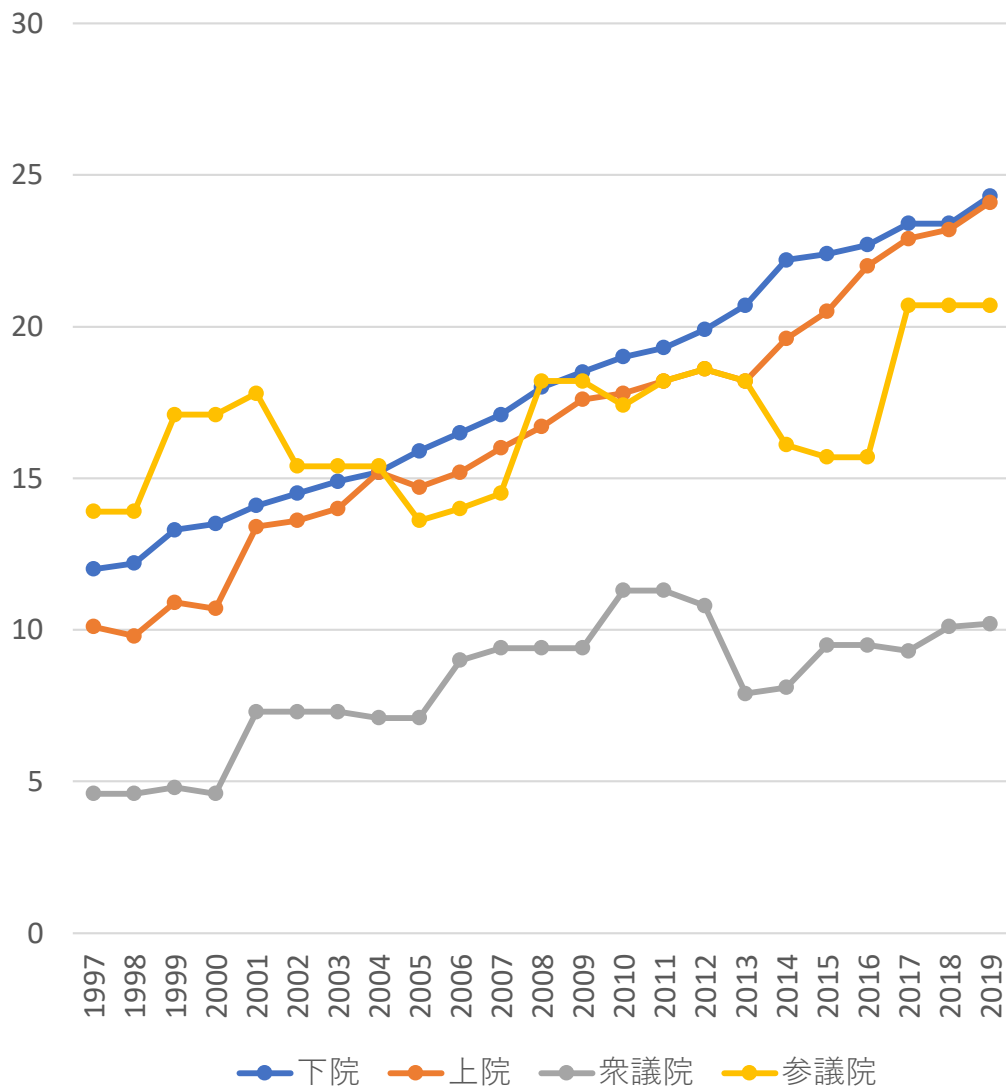
手法

- 見える化の推進
- インセンティブ付与（競争原理）

効果

- 報道量・質の変化
- 意識変化

女性議員比率の推移（世界平均と日本）



女性議員比率

衆議院 10.1% 世界平均 24.3% (193カ国中165位, 2019.1)

参議院 20.7% 世界平均 24.1%

女性代議士は1946年の39人から現在47人へ

20年の変化 (1995~2015)

世界平均	11%	→	22%
日本	2.7%	→	9.5%
イギリス	9.2%	→	22.8%
オーストラリア	8.8%	→	26.2%
フランス	6.4%	→	26.7%

2019年

32%

30%

39.7%

→ クオータ施行国は130カ国以上

戦略目標G.1 190 政府

	実施	効果
a 均衡達成の目標		
b 政党への奨励		
c 政党活動の男女平等		
d 選挙制度の男女差見直し		
e 参画状況の見える化／監視		
f 非政府機関による影響・環境調査の支援		
g 先住民女性		
h 資金供与先のジェンダー平等		
i 職業生活と家庭生活の両立支援		
J 国連機関推薦名簿の男女均衡		

戦略目標G.1 191 政党

	実施	効果
a 女性の参加の障壁除去に向けた政党構造・手続きの調査		
b 内部の意思決定機構、任命、候補者指名過程への女性の完全な参加		
c ジェンダー平等の課題化、政党指導部の男女平等の措置		

戦略目標G.1 192 全セクター

	実施	効果
a クリティカル・マスを達成するためのポジティブ・アクション		
c 任命の基準が妥当で、女性を差別しないことを保障する		
d 男女の新しい役割に関する議論喚起のためのコミュニケーション戦略		
e あらゆる年齢の女性のキャリア向上		

戦略目標G.2. 女性の参加能力向上

	実施	効果
a 自己矜持を持てるようにする訓練		
b 透明な基準、選考機関の男女均衡		
c メンタリング、自己主張・演説・政治運動の訓練		
d ジェンダーの感受性を高める訓練		
e 政治活動・選挙の訓練		

どこに戦略目標を据えるか？

国際－国内
連携の強化

- 国際潮流をどのように国内に還元させる仕組みを作るか？

政治の変化

- 女性の政治参画のさらなる推進：人材育成
- 政党のモニタリング

社会通念の変化

- メディア報道
- インフルエンサー